

8. 県民の国際化意識

(1) 地域の国際化の必要性

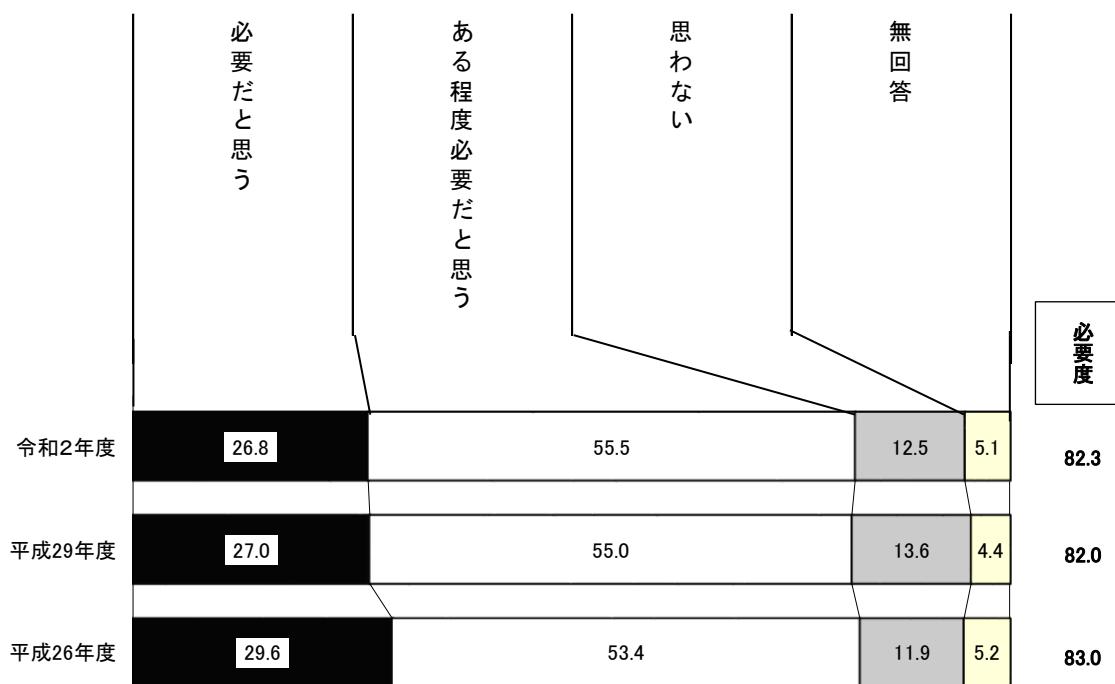
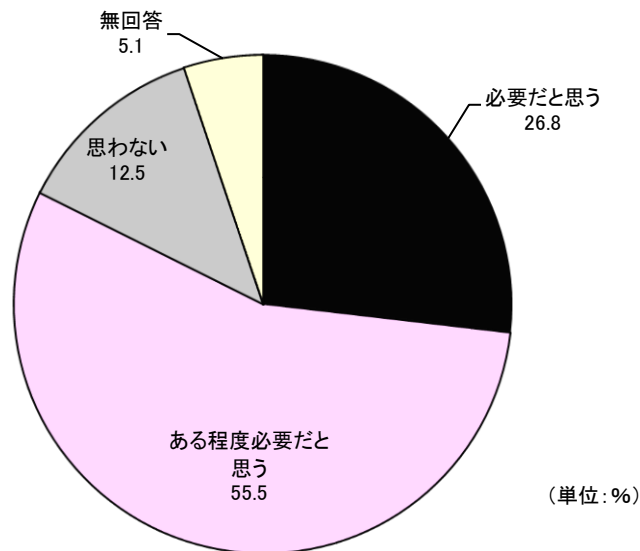
問23 地域の活力向上のために、地域の国際化が必要だと思いますか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

地域の国際化・・・日本人だけでなく外国人(外国籍県民)も安心して暮らし活躍できる社会

8割が地域の国際化が「必要」と回答

地域の国際化の必要性について、「必要だと思う」と回答した人が26.8%、「ある程度必要だと思う」(55.5%)を併せた「必要度」は82.3%である。

前回調査と比較すると、「必要度」に大きな差はない。



＜属性による比較＞

【生活圏別】

「必要度」の割合は広島地方生活圏(82.7%)と備後地方生活圏(81.9%)が8割を超え高く、備北地方生活圏(77.8%)に比べて4.1ポイント以上上回っている。

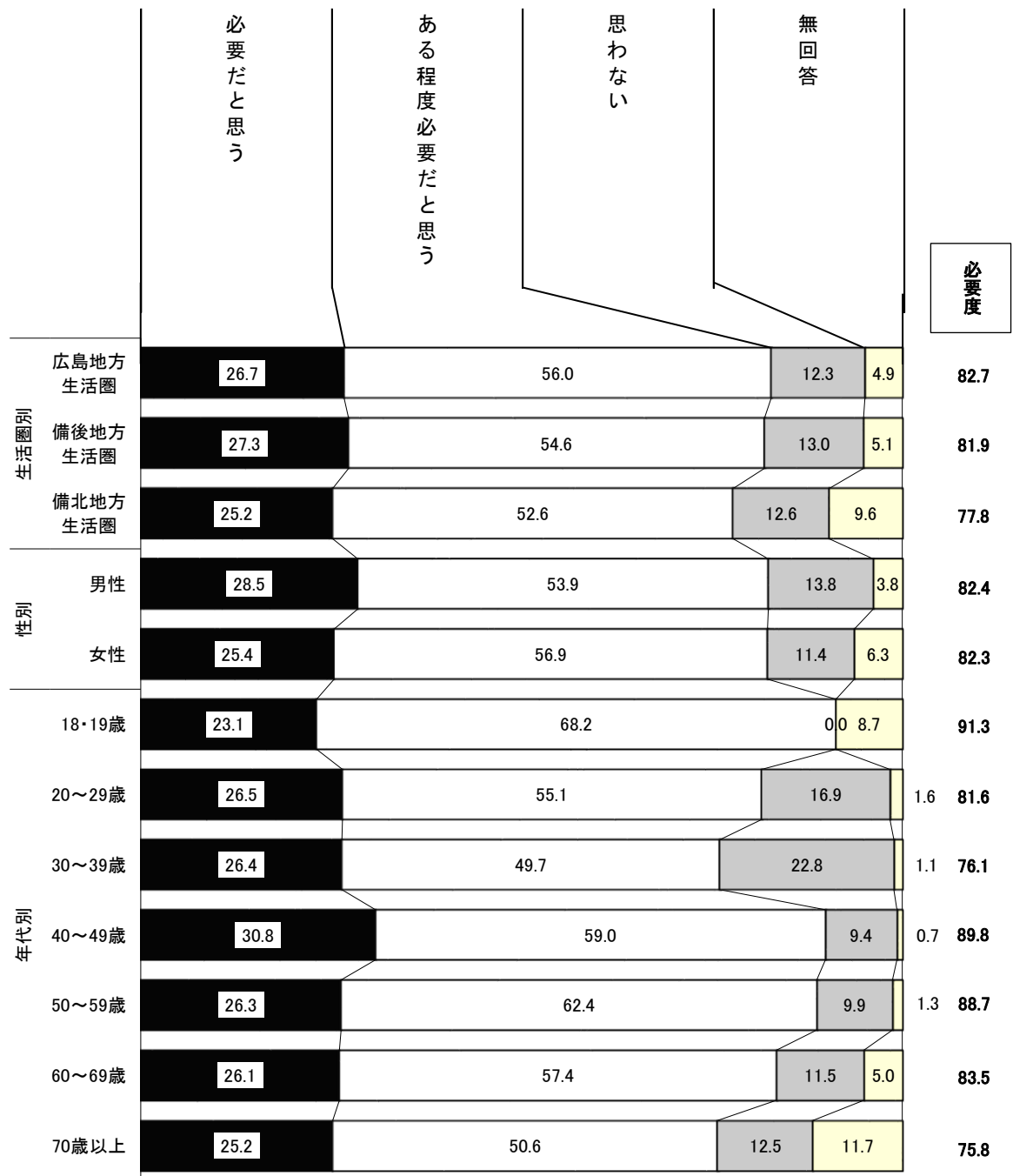
【性別】

男女共に「必要度」の割合が8割を超えており、明確な差が見られない。

【年代別】

「必要度」の割合は30歳代・70歳以上を除く年代で8割を超えている。中でも18・19歳の「必要度」の割合は91.3%と最も高い。

地域の国際化の必要性(生活圏, 性, 年代別)



(単位:%)

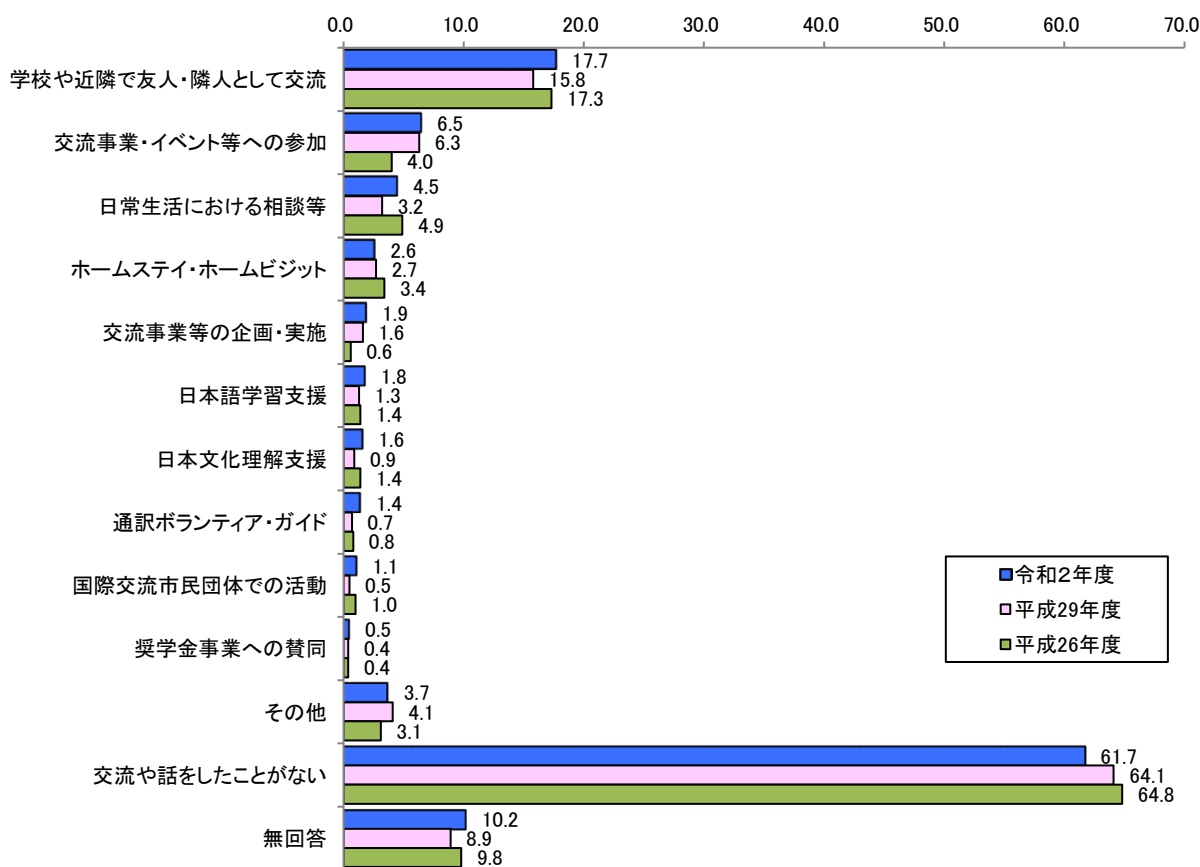
(2) 外国籍県民との交流や支援の内容

問24 あなたは観光客などの来日外国人や広島で暮らす外国籍県民と、交流や支援をしたことがありますか。あてはまるものをすべて選んでください。(M. A.)

外国籍県民と「交流や話をしたことがない」人が6割にのぼる

外国籍県民との交流や支援の内容について、「交流や話をしたことがない」と回答した人が61.7%と6割を超えている。交流内容としては、「学校や近隣で友人・隣人として交流」(17.7%)が最も高く、次いで「交流事業・イベント等へ参加」(6.5%)が続く。

前回調査と比較しても、明確な差は見られない。



(単位:%)

<属性による比較>

【生活圏別】

「交流や話をしたことがない」と回答した割合は広島地方生活圏(61.6%)と備後地方生活圏(62.7%)が6割を超えており、備北地方生活圏(56.7%)に比べて4.9ポイント以上上回っている。

【性別】

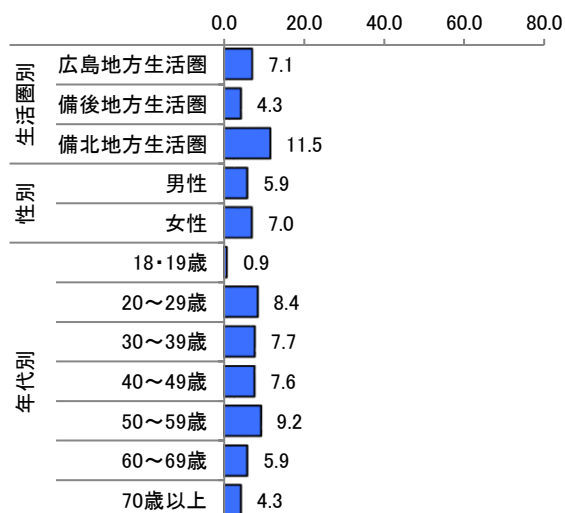
男女共に「交流や話をしたことがない」の割合が6割を超えており、明確な差は見られない。

【年代別】

すべての年代において「交流や話をしたことがない」と回答した割合が半数以上を占め、中でも30歳代は64.9%と最も高くなっている。

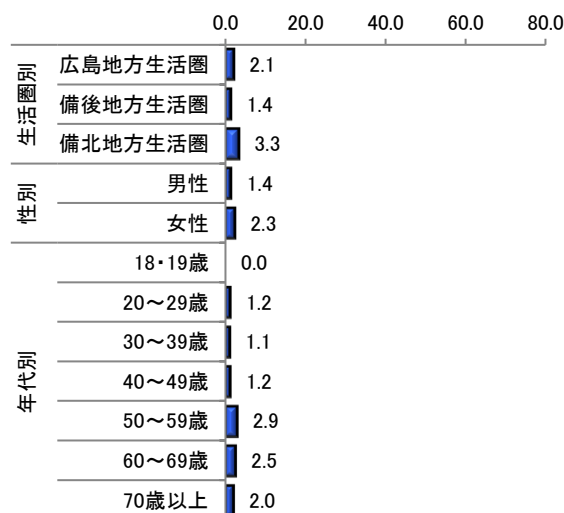
外国籍県民との交流や支援の内容(生活圏, 性, 年代別)

交流事業・イベント等への参加



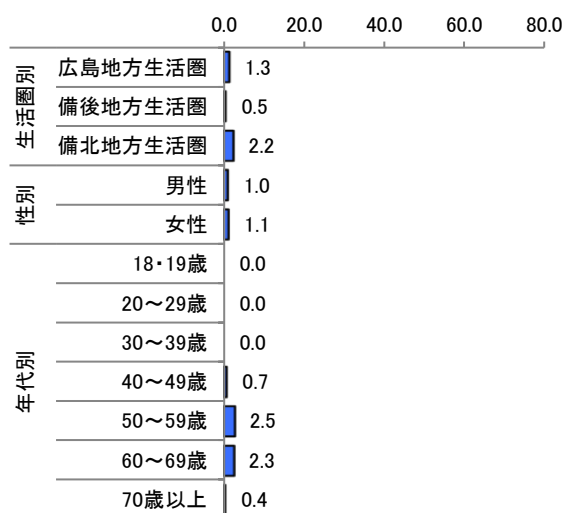
(単位: %)

交流事業等の企画・実施



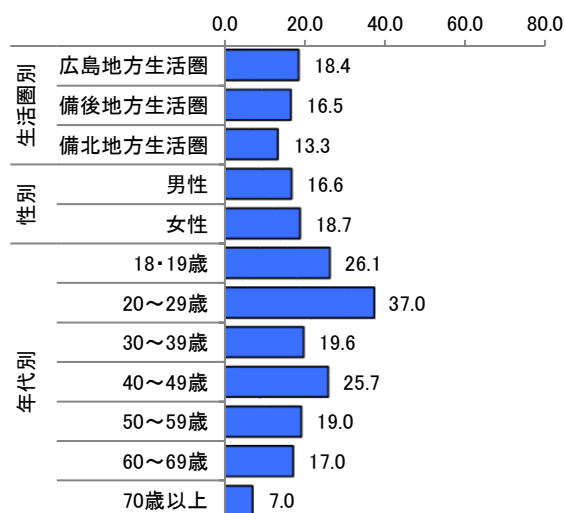
(単位: %)

国際交流市民団体での活動



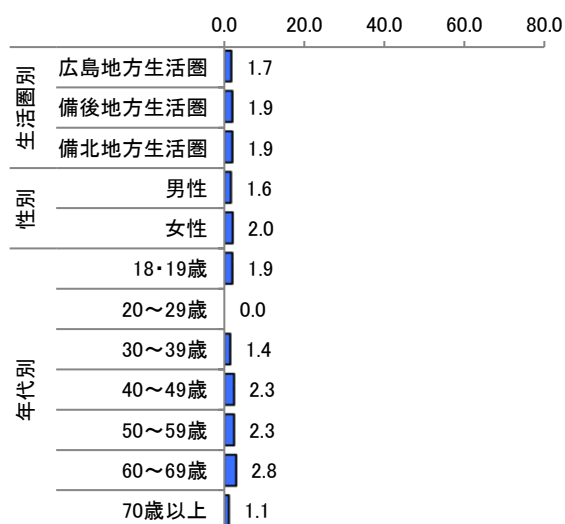
(単位: %)

学校や近隣で友人・隣人として交流



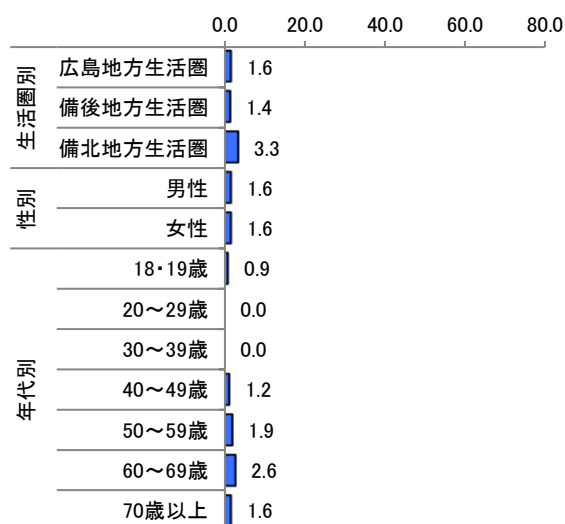
(単位: %)

日本語学習支援



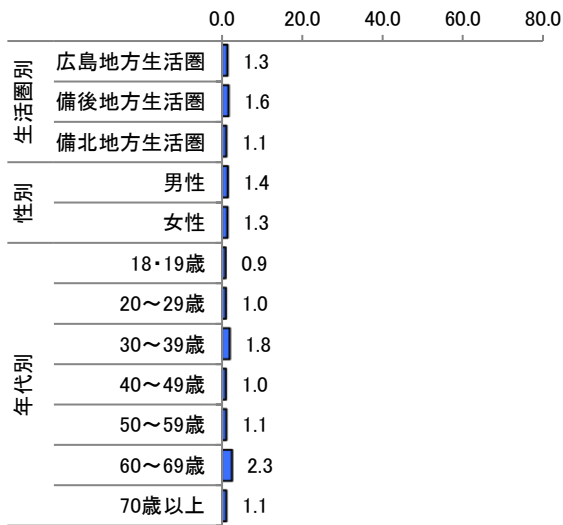
(単位: %)

日本文化理解支援



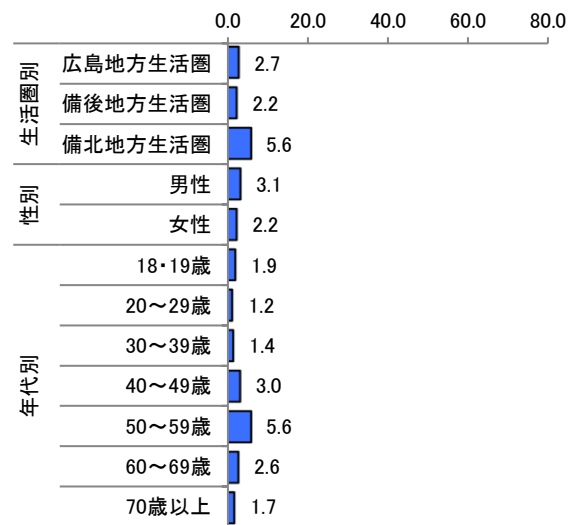
(単位: %)

通訳ボランティア・ガイド



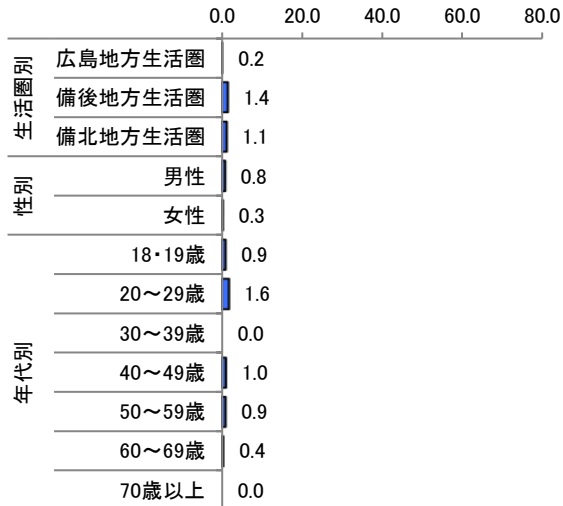
(単位: %)

ホームステイ・ホームビジット



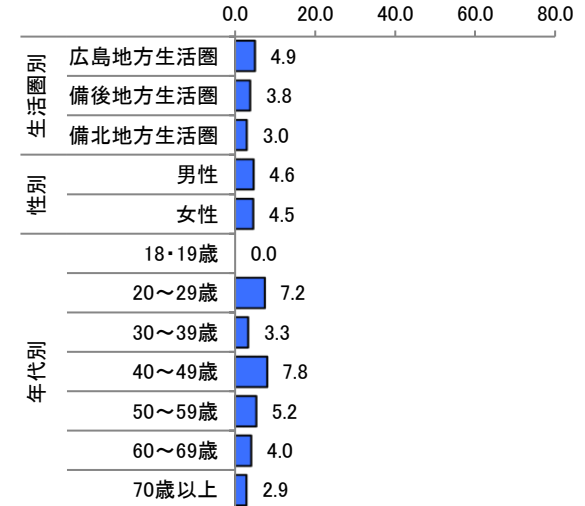
(単位: %)

奨学金事業への賛同



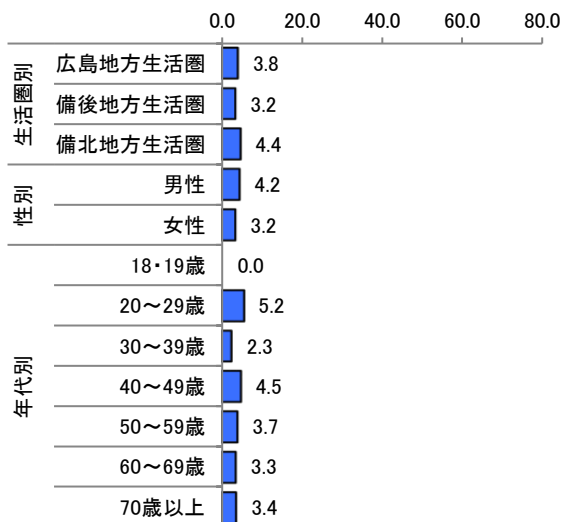
(単位: %)

日常生活における相談等



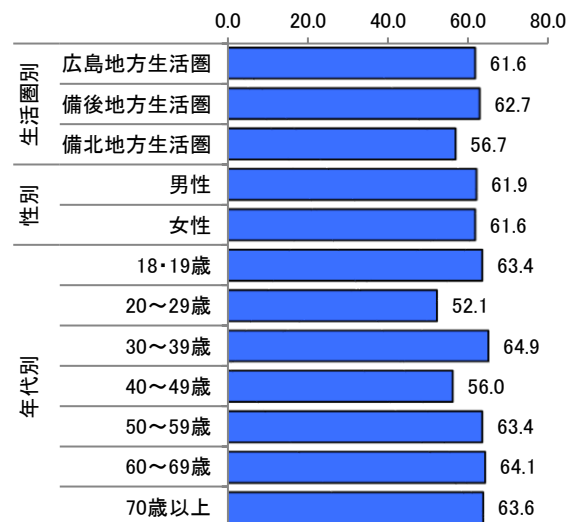
(単位: %)

その他



(単位: %)

交流や話をしたことがない



(単位: %)

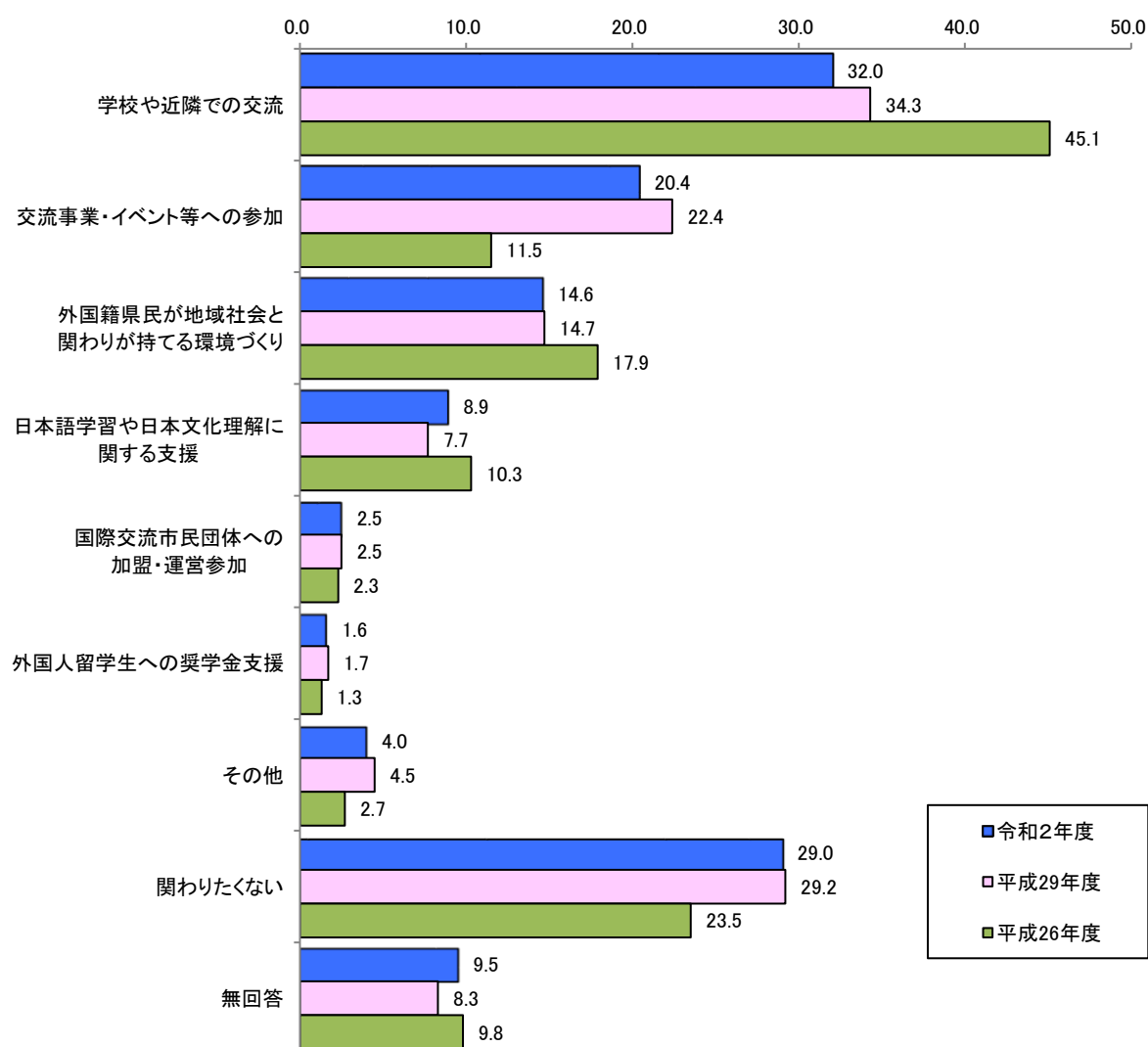
(3) 地域の国際化を進めるための関わり

問25 今後地域の国際化を進めるために、あなたはどのようなことに関わりたいと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。(M. A.)

「学校や近隣での交流」「交流事業・イベント等への参加」が上位

地域の国際化を進めるための関わりとして、「学校や近隣での交流」と回答した割合が32.0%と最も高く、次いで「交流事業・イベント等への参加」(20.4%)、「外国籍県民が地域社会と関わりが持てる環境づくり」(14.6%)となっている。

前回調査と比較しても、明確な差は見られない。



(単位:%)

＜属性による比較＞

【生活圏別】

備北地方生活圏は「交流事業・イベント等への参加」(26.3%)、「外国籍県民が地域社会と関わりが持てる環境づくり」(20.7%)、広島地方生活圏は「学校や近隣での交流」(33.1%)が他の生活圏と比べて高くなっている。また、「関わりたくない」は備後地方生活圏で31.4%と他の生活圏と比べて高くなっている。

【性別】

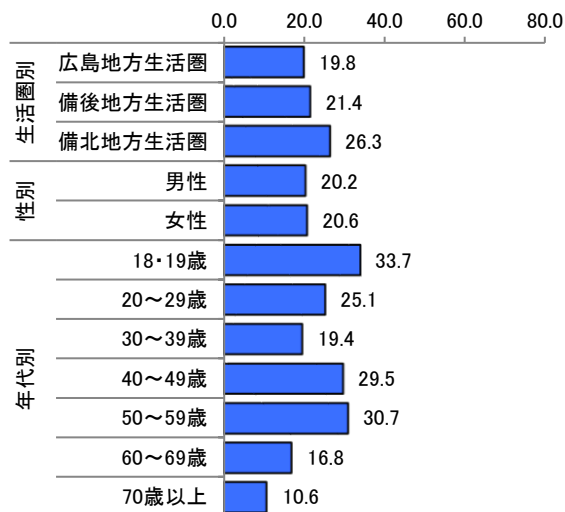
「学校や近隣での交流」と回答した割合は女性(33.9%)が男性(29.9%)と比べて4.0ポイント高く、「関わりたくない」と回答した割合は男性(30.8%)が女性(27.4%)と比べて3.4ポイント高い。

【年代別】

20歳代は「学校や近隣での交流」が45.3%と最も高くなっている。

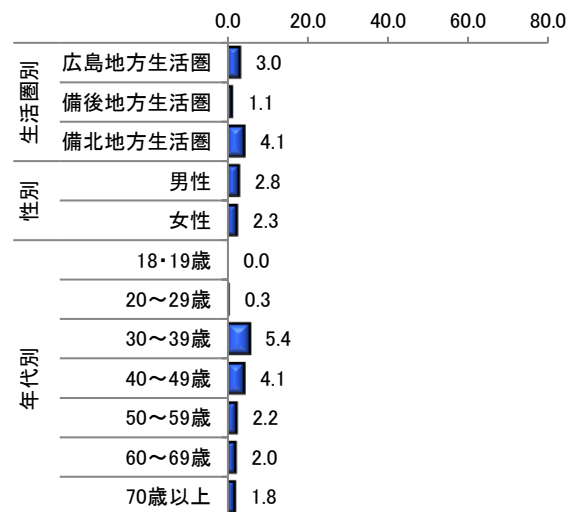
地域の国際化を進めるための関わり(生活圏, 性, 年代別)

交流事業・イベント等への参加



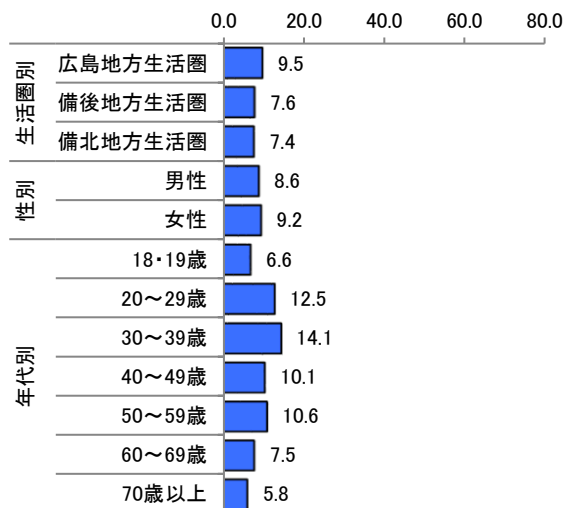
(単位: %)

国際交流市民団体への加盟・運営参加



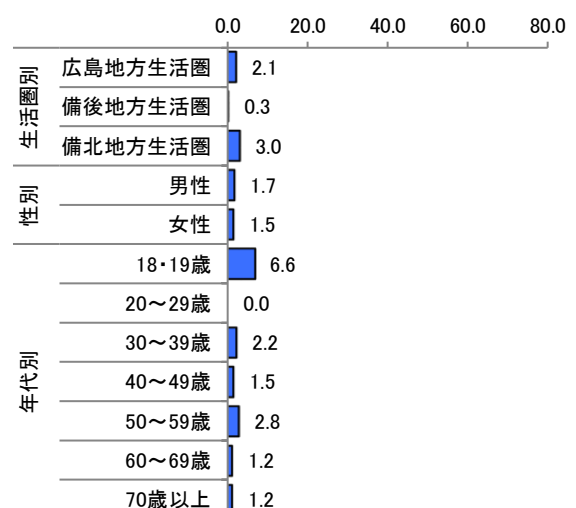
(単位: %)

日本語学習や日本文化理解に関する支援



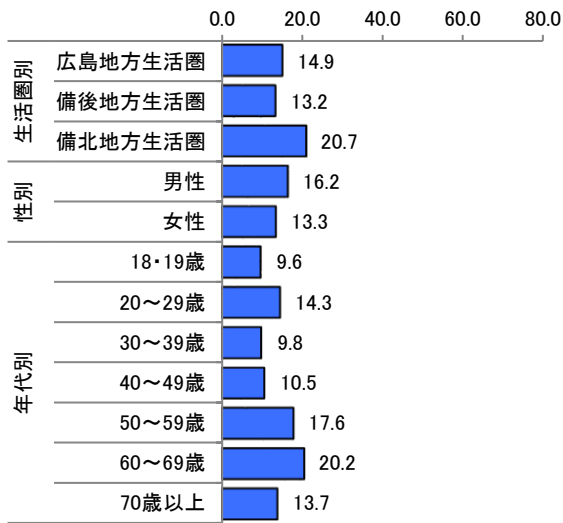
(単位: %)

外国人留学生への奨学金支援



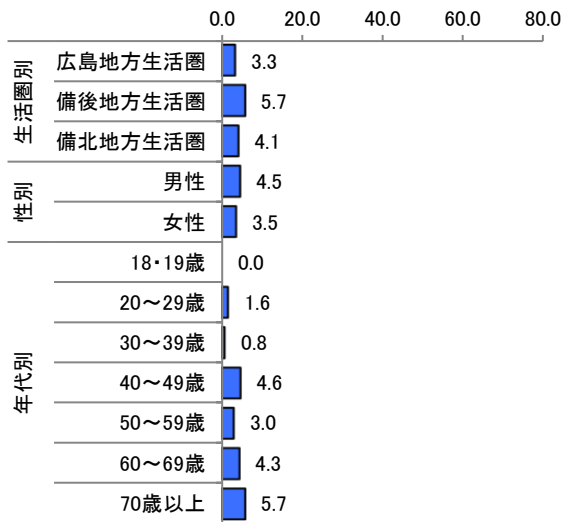
(単位: %)

外国籍県民が地域社会と関わりが持てる環境づくり



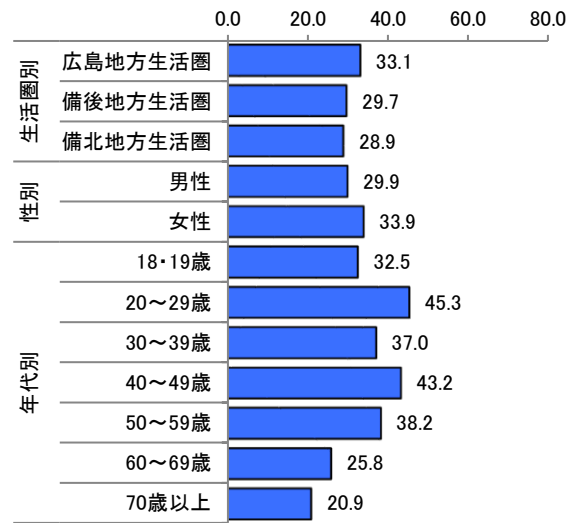
(単位:%)

その他



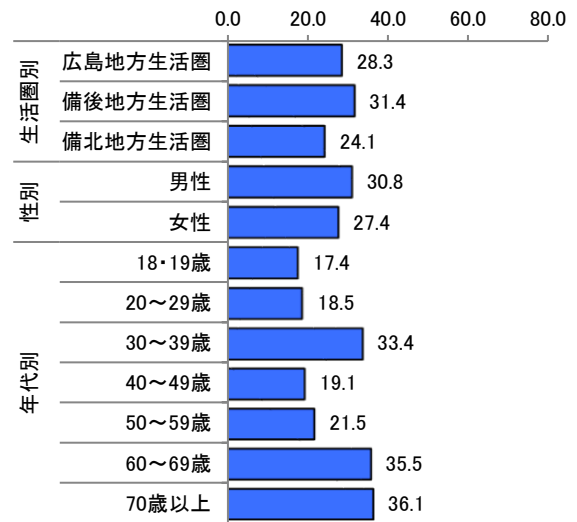
(単位:%)

学校や近隣での交流



(単位:%)

関わりたくない



(単位:%)